

本浦漁港における防災・減災、国土強靱化の取組（県営事業）



危険な乗り込み



本浦漁港の概要

宇和海に面する本漁港は、国内有数の好漁場で主にブリ養殖が盛んであり、養殖漁業の生産拠点として重要な役割を担っています。また、周辺海域で操業する漁船の避難港としての役割も担っています。しかし、当該地区の漁業者の高齢化や、物揚場及び用地不足などが問題となっています。

事業の目的と概要

漁船の大型化に対応した物揚場不足や漁業作業に十分な用地の不足、2.3mもの潮位差が作業の非効率化の原因となっています。これら問題に対処することで漁業活動の効率化や安全性向上を背景とした生産力の強化を図るために、本事業を実施しています。

事業期間：令和4年～令和8年

整備内容：護岸（拡幅）、浮体式物揚場（新設）

大幅な潮位差により重労働となっている積み込み



潮位差最大2.3m